

＜シンポジウム 10—3＞TIA の新しい概念と対策

## TIA の初期対応に必要な検査と治療

岡田 靖 森 真由美 湧川 佳幸 矢坂 正弘

(臨床神経 2010;50:909)

**Key words** : 一過性脳虚血発作, ABCD2スコア, 頸部血管エコー, 拡散強調画像, 急性脳血管症候群

一過性脳虚血発作 (TIA) 発症後早期の検査としては, 片麻痺, 言語障害をふくむ特徴的な病歴とその持続時間の聴取, 血圧, 心電図, 血液検査(血算, 血糖, コレステロール, PT-INR, Dダイマー, BNP), 頸部血管超音波検査, 拡散強調画像, MR血管撮影をふくむ MRI を診察当日におこなう。理想的には2日以内に必要に応じ経食道エコー(右-左シャント, 心腔内血栓, 大動脈弓部粥状評価)や下肢静脈, 胸部大血管の評価を追加し, 24時間心電図で発作性心房細動検出をくりかえす。九州医療センター TIA 緊急入院患者の検討でも ABCD2スコア高値, 心房細動合併例で早期の脳梗塞発症リスクは高かつ

た。脳梗塞同様, 迅速な責任血管, 臨床病型および発症機序の評価に応じて適切な抗血栓療法と循環動態管理を開始する。AHA/ASA では発症 72 時間以内, ABCD2 スコア 3 点以上で緊急入院を推奨し, 新たな定義も提唱された。新たな診断基準と治療体制を確立させ, 予防救急としてハイリスク TIA と急性期脳梗塞を同一のスペクトラム上で捉え急性脳血管症候群 (Acute Cerebrovascular Syndrome) と位置づける新たな初期診療が望まれる。本学会では特徴的な TIA を呈示し, 初期診療の重要性を述べた。

### Abstract

#### The first stage examination and therapy for patients with TIA

Yasushi Okada, M.D., Mayumi Mori, M.D., Yoshiyuki Wakugawa, M.D. and Masahiro Yasaka, M.D.  
Department of Cerebrovascular Medicine and Clinical Research Institute  
National Hospital Organization, Kyushu Medical Center

(Clin Neurol 2010;50:909)

**Key words**: Transient Ischemic Attack, ABCD2 score, Carotid Ultrasonography, Diffusion Weighted Imaging, Acute cerebrovascular Syndrome